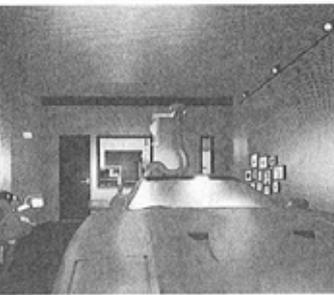


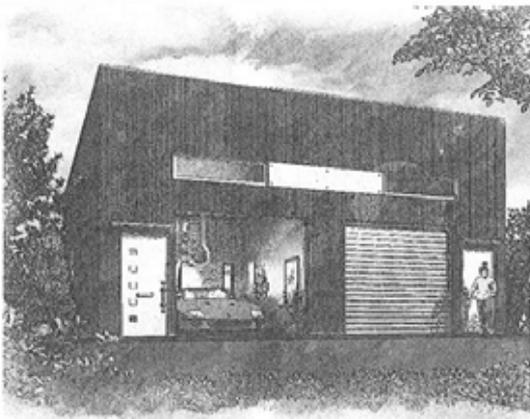
屋古ライフ
名セーフティ

空き倉庫・工場を活用 ガレージ付き賃貸に

住宅の企画・建築を手掛けるセーフティライフ(名古屋市中区、長谷川睦代表)はこのほど、ガレージ付き賃貸のリンベーションブランド「Ajitto(アジト)」を立ち上げた。11月1日に、築30年の空き倉庫を改装した第1号物件を中区でオープンする。



同社によると、愛知県におけるガレージ付き賃貸の潜在需要はあるものの、供給が足りないのが現状。特に、「40代以上



④第1弾の完成予想パース。中区松原にオープン予定
⑤くつろぎながら愛車を眺められるよう、リビングとガレージの間に大きな窓を取り付ける

の収入に余裕のある世代でニーズが高い」という。そこで設備仕様を充実させ、ターゲットをよりコアな「車好き」

に絞ることで差別化を図る。具体的には、ガレージ専用電動シャッターやセムのホームセキュリティシステム、排気ガス排出システムを標準装備。防音にも配慮し、平屋建てを採用した。

また、11年度から自動車整備業者と提携したうえで、「車版かかりつけの主治医」サービスを始める予定。メンテナンスやタイヤ・オイル交換のほか、車にまつわる相談全般に対応する。ハード、ソフト両面でガレージライフを支援する体制を築く。

11月に入居開始予定の物件は、64・7㎡の1LDK+ガレージ。月額賃料の18万5000円(敷金、礼金、共益費は別)は周辺相場のおよそ2倍近い設定だが、駐車場代がからずセキュリティ費用込みである点を踏まえると、「実質的には高くない」と(同社)。9月9日に募集を開始してから、既に数件の反響が寄せられている。

周辺では折からの不況で、50〜100坪程度の倉庫や工場の退去・移転が後を絶たないという。今回の事業には、

そうした空き物件の有効活用を通じてオーナーを支援する狙いもある。